

ホームセキュリティー

ガイガーカウンタ 完成品

【概要】

低価格で放射線を検出、設定以上で警報を発します。目に見えないものだから、設定以上でアラームになるのは便利です。



【使用法】

ケース内部は高電圧を作っている場所があり蓋を開ける際は必ず電源を切ってください。

側面の溝に - ドライバーを入れケースの蓋をはずして電池を入れてください。蓋を閉め電源スイッチをONにする事で動作します。通常1分間に1～4回、放射線を検出してピツという音がします。1分間に10カウント以上検出すると警報を発してピピピピとなります。止めるには電源を一度切ってください。通常では10カウントを超えることは有りませんが、もし警報が鳴ったら電源を切って再度電源を入れて検出具合を確認してください。一般的な使い方としては放射線源に近づけてカウントが上がることを確認して、放射線源の場所を確認します。ただし、その地域自体が放射線が多くなった場合検出器の軸方向に放射線源があるとカウントは減少し、検出面方向から入る放射線に対して最もよく検出します。(検出器の円柱側面を放射線が通過したとき検出できる)

アラームがなっても一時的に何らかの原因で増えたことが考えられますので再度様子を見てください。なお、検出器の動作原理上、近くで静電気などによる放電や高圧電気パルスによっても反応しますのでご注意ください。また、警報が鳴ったからといっても必ずしも即危険というものではありませんので、その点ご注意ください。

【注意】

本体は水などかからないよう注意してください。

内部は高電圧がかかっている場所があります。通電中は絶対触れないでください。

ガイガーカウンタは放射線の種類はわかりません。同じ検出量でも危険度が異なります。

本セットを用いて生じるいかなる不利益も当方では一切補償致しかねます。

【参考資料】

花崗岩の多い西日本は一般的に50%程度カウントは高くなります。また、屋外の方が宇宙からの放射線を受けやすいので若干カウントは上がるようです。逆にトンネルなどでは宇宙からの放射線が遮断されてカウントは減少します。原子力発電所などの周囲は、通常時は自然界の放射線に比べてごくわずかなので、自然界のレベルと区別はつきません。ウラン鉱の発見された人形峠付近では自然界の2～3倍程度の数値が検出できました。特に地面に近づけるとカウントは上がるようです。(土そのものに放射性物質が微量含まれているということでしょうか。)人形峠展示館内では、実際のウラン鉱や鉱石の展示がありますが、ショーケースの外からでも自然界の10倍以上(20～50カウント/分、距離によってカウントは変わります。)の放射線を検出しました。(放射線種は特定できないので危険度は判定できない)

放射線そのものは自然界にも存在しますので、危険度については本などで正しい知識を持って判断する必要があります。

仕様

電源 DC9V(006P乾電池) 連続約50時間

外部電源 2.1 DCジャック 9Vセンター +

ケース寸法 60×120×24mm(突起部を除く)

警報 1分間のカウントが10カウント以上

(有)アール・アイ・エフ

〒648-0096

和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>